

home (2001)

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー

製作国 日本

色彩 Color

時間 64分

初公開日 2002/10/19

公開情報 home works=ボックスオフィス

【キャッチコピー】

ひきこもってもいいじゃないか。ちょっと遠回りするだけだよ。

【解説】

ある家族の実情を生々しく映し出したドキュメンタリー。引き籠もりや家族を題材としている。企画・監督の小林貴裕が撮影も兼ね、それぞれに問題を抱えている自分の家族を徐々に訪れて、赤裸々に撮り上げた。国内では数々の映画祭で受賞し絶賛され、海外の映画祭にも出品された。

ある夏の夜、小林貴裕のもとに長野の実家にいる母親から連絡が入る。祖母の精密検査の結果が悪く、対処ができないとのことだった。貴裕は5年ぶりに実家に帰った。貴裕の家族は色々と問題を抱えていた。7年間引き籠もっている潔癖症の兄・博和。そんな兄と父との度重なるケンカが原因で鬱病にかかってしまった母。末期ガンの祖母。貴裕は高校進学を理由に実家を離れ、家族から逃げ続けた。父もまた実家を出て、貴裕と埼玉で暮らしていた。貴裕は初めて家族と向き合おうと、ビデオカメラを携えて生まれ育ったこの家に入って行くのだった。

【クレジット】

監督 小林貴裕

製作 安岡卓治

企画 小林貴裕

撮影 小林貴裕